



大阪商業大学高等学校 校友会

校友会誌

第16号 2017年

平成29年4月17日発行

<http://kouyuukai.org>



校友会 総会・演奏会・懇親会のご案内

平成 29 年 5 月 27 日 (土)

会 場

総会・演奏会 大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」

懇 親 会 U・コミュニティホールL (TTSセンター 6F)

◇ 総 会

開 会 午後 2 時 0 0 分 (受付 午後 1 時 3 0 分)

◇ 演奏会

出 演 ファニーカンパニー ジャズ オーケストラ

41年の伝統を誇る大阪府代表 アマチュア ジャズ ビックバンド

開 演 校友会 総会 終了後

◇ 懇 親 会

開 会 午後 4 時 3 0 分 (受付 午後 4 時 1 5 分)

会 費 特別会員 (現・旧教職員) 招 待

長寿会員 (第 1 期～第 30 期) ￥ 2, 0 0 0

正 会 員 (第 31 期～第 83 期) ￥ 5, 0 0 0

新卒会員 (第 84 期～第 87 期) 招 待

※ 総会および懇親会 参加希望者は、5月13日(土)までに「返信用はがき」で、お申し込みください。

「ごあいさつ」

校友会会長 宮原 健



校友会会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のことと存じます。平素は、校友会活動にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本会は、平成13年5月に組織整備され、昨年で15周年を迎えました。お蔭様で順調に活動しております

ことは、皆様のお支えがあったればこそと、感謝いたしております。心新たに更なる発展を期して努力する所存でございます。よろしくご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、「本会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校の後援をなす」という目的達成のために、定時総会および懇親会の場をもっと活用していただき、ミニ同期会・ミニクラブOB会を計画していただきたいと思います。お陰様で、そんな願いに少しずつお答えいただいておりますことは、まことに喜ばしい限りでございます。私たち役員も更なる充実した会にするよう努力を惜しみません。皆様の忌憚のないご意見やご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

新しい試みとして校友会誌の充実を図りたいと考えています。現在の校友会誌は、校友会の活動や母校の様子的一端を紹介しているにすぎません。そこで、返信用はがきに書いていただいた近況などを次号からこの会誌に集録することといたしました。

これにより、日ごろ疎遠になっている旧友や先輩・後輩の動向を知ることができ、この校友会誌が会員相互を繋ぐ更なる一助になると考えたからです。

ぜひ、ご利用いただければ幸いです。

「校友会総会に寄せて」

母校校長 好永 保宣 先生



校友会総会の開催を、心より喜び申し上げます。また、会員の皆さまには、日頃より本校教育に多大なご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、2月25日に挙行しました第87回卒業証書授与式に際しては、宮原会長に参列いただき校友会より花束を頂戴しました。

ありがとうございました。ここで母校を巣立った360名の卒業生が新たな校友会の会員となります。よろしくお願い申し上げます。

現在、本校はグローバル商大、文理進学、スポーツ専修、デザイン美術の4コースを設置し、それぞれのコースで特色ある取り組みを進めております。グローバル商大コースでは、学業とともに検定試験を奨め、英語検定、簿記検定、ICTプロフィシエンシー検定などに多くの生徒がチャレンジし、難関である2級への合格者も出しています。大阪商業大学への進学も系列校推薦入試だけでなく、大学がさらに上級の資格受験を補助してくれる資格推薦入試での合格者もでています。また、海外留学費用を大学が負担してくれるGETコースへも初めて2名合格いたしました。

文理進学コースは、進学に力を入れ、授業のみならず放課後や休暇中の外部講師による進学講座などを行っています。また、速読講座などユニークな取り組みもあります。大阪大学に合格者を出した平成28年3月卒業の一期生に続き、昨年度卒業の二期生も関関同立など難関私学や国公立大学へ合格しています。

スポーツ専修コースは、全員が運動クラブへ所属しており、それぞれのクラブが活躍しています。昨年度は柔道部の山本一真君が-77kg級において大阪大会で優勝し、インターハイに出場、ベスト8(5位)に入る活躍を見せてくれました。伝統のバレーボール部も大阪大会で3位に入り、再び全国に手が届くところまで来ました。頑張っている後輩に是非とも熱い声援を送ってください！

最後にデザイン美術コースは、系列の神戸芸術工科大学と連携し、高校在学中に大学での集中授業、本校での大学教授による特別授業などを行っています。また、大阪商業大学附属幼稚園の園児と一緒に木工でおもちゃをつくるといった授業もあります。毎年、1月下旬に卒業制作展を行っていますので、機会がありましたらぜひご高覧ください。

平成29年度入学試験においても、募集定員325名に対して、専願334名、併願1,056名、計1,390名の志願者がありました。これからも明るく充実した学校生活を送り、地域に信頼される学校であり続けるために、教職員一同努力してまいります。校友会のみなさまのさらなるご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

■ 歴代の校長先生 (敬称略)

初代	谷岡 登	昭3. 4. 1 ~ 昭13. 3. 31
2代	山田 楊之助	昭13. 8. 20 ~ 昭14. 5. 10
3代	竹谷 辰郎	昭14. 11. 2 ~ 昭18. 3. 11
4代	谷岡 拓磨	昭18. 3. 12 ~ 昭23. 3. 31
5代	谷岡 登	昭23. 4. 1 ~ 昭24. 3. 31
6代	谷岡 拓磨	昭24. 4. 1 ~ 昭42. 3. 31
7代	谷岡 太郎	昭42. 4. 1 ~ 昭44. 8. 31
8代	小林 得一郎	昭44. 9. 1 ~ 昭54. 3. 31
9代	湯原 俊雄	昭54. 4. 1 ~ 昭61. 3. 31
10代	柴田 巖	昭61. 4. 1 ~ 平4. 3. 31
11代	久間田 博幸	平4. 4. 1 ~ 平9. 3. 31
12代	中山 次郎	平9. 4. 1 ~ 平12. 3. 31
13代	厚母 眞一	平12. 4. 1 ~ 平16. 3. 31
14代	尼子 東吉	平16. 4. 1 ~ 平20. 3. 31
15代	大塚 信一	平20. 4. 1 ~ 平25. 3. 31
16代	堀井 純	平25. 4. 1 ~ 平28. 3. 31
17代	好永 保宣	平28. 4. 1 ~

「 16周年おめでとうございます 」

母校 第9代校長・校友会顧問 湯原 俊雄 先生



母校が益々発展を遂げている今日この頃、校友会の皆様のご支援に深く敬意を表するものです。

そして此の校友会誌が皆さんをつなぐ有力な役割と母校の現状を直接理解できる大切な役割を果たしている事を痛感しています。

私も昨年のこの会誌を拝見して、母校の現状を大変良く理解できて嬉しい気持ちを改めて感じた次第です。

ここで勝手ですが、少し自分の事を書かせて頂きます。私は母校の校長を退職後、前理事長・谷岡太郎先生の最後の大仕事に、神戸に大学を作るからお前も協力せよと命じられ、平成元年に神戸芸術工科大学の設立に参画し、文部省との折衝の末、初代の事務局長として、尽力してきました。

新設の大学でしたが、一流の教授陣を揃え、芸術工学という新鮮な大学として早々に話題となり良い出発をしました。以降はご存知の方も多し事と思います。当初より本校の姉妹校として、出発しましたが、当初は中々入るのも難しく、私は1割は商大高校から取りたいと、言い続けてきました。年々受験してくれる人数も増えてはきましたが、去年の会報でみますと4人とありましたが、毎年4～5人程度でしょうか。

日本の建築界の大御所・吉武先生・次の鈴木先生など素晴らしい学長のもと、そしてその後継者の斉木現学長と引き継がれ、建築環境・アパレル・プロダクトデザイン・新しくマンガ学科など、ユニークな活動は、学長を先頭に学生も神戸市の色々な所で大活躍をしています。

今後も芸工大との連携が強まり入学者も増えることを心から期待しています。

当初一緒に走り回った偉大な学長・吉武・鈴木両先生（何れも東大名誉教授）とも亡くなりました。私だけ（今年93歳）が残ってしまい寂しくなりました。私も今は心臓や肝臓癌の手術と、満身創痍で、もう先は短いですが、母校の発展を遠くから応援させて頂いています。

勝手な事を並べてしまい申し訳ありませんが、今後の校友会がますます発展されますよう祈念してご挨拶にかえさせて頂きます。



「 老いのひとり言 」

母校 第11代校長・校友会顧問 久間田 博幸 先生

皆様お元気で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。私も後期高齢者の仲間入りして間もなく10年です。肩たたきにあったなら「自分の売りは何か」「何をしたいのか」の答えを出す心配もありません。しかし、毎日のTVや新聞を見ていて、片仮名語が増え調べるのが大変です。

さて、若い時には複雑であろう老年を生きる才覚を持ちあわせず、歳を重ねる身体の自由が利かなくなったり、容姿が落ちたり、社会的地位を失っていく中で、利己的になり、忍耐力も落ちていくようです。

私も内科医や整形医のお世話を受けながら生きるなど縁のない話だと思っていました。しかし今、外出といえば大部分が「通院」で、妻と笑っています。人間は「機能と五感」が正常なうちは健康維持の予防措置をしません、長い人生を考えると病気込みの生活を念頭に、暴食・深酒・喫煙など日常生活を改め、適度な運動の習慣化に加えて、家庭料理を食べるようにしましょう。加えて自分の事は自分でするという強い意志と実行力が必要かと思えます。どんなに仲の良い夫婦であつてもいずれは一人になります。その時、故人は、パートナーが落ち込まないで、イキイキと暮らしている姿を見たいと思っているのではないのでしょうか。（私が見たら、そう思います。）ならば、見事な人生を生きなければ故人が可愛想だと思ふ温かい気持ちを持つて生きたいものです。健康で見事な生活を営むには、目的・目標を持つ事とされています。自分に何が出来るかを考え、日常生活の営みを人任せにしないで、孤独の中で自分の生き様を振り返り、どんな意味があつたかを発見しましょう。老年期の孤独こそ人生の最後に味わう境地で、老人に対して「最後にもう一段階、立派な人間になってこいよ。」という贈り物であると思えます。人間は一人で生まれ、一人で去っていく人生一人旅です。晩年こそ自分の得ているもの全てをも駆使して幸福を創り出す才覚を発揮しましょう。私達は、学校を卒業すると社会の一部に組み込まれて働きます。その過程で「愛」を知り人生の一部を選びます。自由に旅行を楽しんだり、趣味に時間を使ったり、娯楽・教養・交友等で人間性を高めます。そして、家族や友人・知人達から、信頼や好意を受けたなら、人生は「大成功」と言えるのではないのでしょうか。

次に、毎日のようにTVニュースや新聞紙面を賑わしているアメリカ大統領トランプ氏。難民受け入れの停止・国境に壁を

つくとか。加えてアメリカファーストの掛け声と共に保護主義へ舵をきります。目を欧州に向けると、イギリスのEU離脱をはじめフランスでも自国優先を打ち出す政党の台頭など、強いリーダーを求める風潮が広がりつつあります。更に、北朝鮮の動向・アメリカ・中国・ロシアの軍勢力増強による覇権主義の強化、そして各国の保護主義への転換は、自由貿易から二国間協議に移行する事になるでしょう。それは、強大国の意のままに貿易が行われるという事です。日本は、他国が経験していない最初の少子高齢化の進む中で、高い経済成長は望めません。ならば低成長を前提にした体質改善と可能な範囲で海外移住受け入れ・異文化コミュニケーション教育の充実・外貨を稼げる基幹産業への注力等、知恵の出どころでしょう。加えて、福祉政策・医療体制・街づくり・大学医学部・看護学部など投資すべきテーマはいくらでもあると思います。AIの進歩は、無人運転カーの開発・会話型のロボット開発など投資を増やせば景気は向上するのではないのでしょうか。(会話型ロボットは欲しいです。)

今日も、いつものように妻と二人、黄昏の中、ゆるやかに下る坂道に立ち、明日も晴れることを念じつつ、この坂道を、そろそろと下りて行こう。

「 渉外活動から見たものは… 」

母校 第16代校長・校友会顧問 堀井 純 先生

新たな年度に入りました。私ごとですが、40年間の教員生活を終え、昨年度から渉外担当として仕事を始めました。そこから感じ取った感想を、この機会に文章にしたいと思います。是非、今の商大高校の状況を、少しでも知って頂ければと思っています。

まず、渉外担当の仕事内容を少し紹介します。私学として重要な課題である、生徒募集に関わった仕事をしています。主に各中学校・塾を定期的に訪問し、商大高校の教育内容や魅力を紹介しています。そして、少しでも多くの中学生に、本校を体験してもらえるように、働きかけています。

私は、主に塾を担当しています。塾担当は私を入れて2名、約500塾を訪問しています。中学校担当は4名、約400校の中学校を訪問しています。この仕事に就いて、本校が人々にどのような評価をされているのか、より一層実感することになりました。

では、この点について、平成28年度渉外担当の総括から一部紹介します。

*専願者の増加…「父親が本校の卒業生で、子供もぜひ行かせたい。」「兄弟が行っていてこの子も行かせたい。」と、子弟のリピーターが多い。本校教員の丁寧な温かい指導成果が、口コミで広がっている。また、過去最多の併願から専願への切り替えが30名余りあった。

これを裏付ける資料として、本校の出願数<表1>は、<表2>のように大阪府下の中学生が、年々減少しているなかで、募集定員325名をほぼ専願で確保しています。また、子弟の出願も<表3>から分かるように、安定した出願数を維持しています。

今後も、この流れを崩さずに維持できますように、会員皆様のご協力をお願いします。

<表1> 出願数の推移

年 度	平成29年入学	平成28年入学	平成27年入学	平成26年入学	平成25年入学
専願出願数	334	313	326	319	377
併願出願数	1,056	1,062	1,029	1,094	1,074
総出願数	1,390	1,375	1,355	1,413	1,451

<表2> 今後の大阪府下中学校卒業予定数の動き

年 度	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
卒業予定数	77,220	75,170	74,210	73,240	70,850
H26との差	0	-2,050	-3,010	-3,980	-6,370

<表3> 子弟出願数の推移

年 度	平成29年入学	平成28年入学	平成27年入学	平成26年入学	平成25年入学
子弟出願数	92	87	81	64	83
出願総数	1,390	1,375	1,355	1,413	1,451
出願率	6.60%	6.30%	6.00%	4.50%	5.70%

「 第50期 同窓会 3-8会 」

第50期生(昭和55年卒業)3年8組 担任

旧教職員 吉村 峻治 先生

2015年11月23日(祭)午後5時キックオフ。在籍人員43名中17名参加。場所 八尾市北本町 居酒屋「ふじき」

見たところわからず、少し話をしようやくわかり始め、想い出話を始めた。東京より2名この同窓会の為に出席。少し遅れ兵庫県の出張先より1名、近況報告スタート!家庭もちの立派に大学まで2名卒業させた者、父親の家業を継ぎ商売を広げている者、独立心が強く1人で会社を立ち上げ、東京・大阪・

福岡等々でご商売をしている者、修学旅行ではでは、ヤングマンを歌った者、今は少年野球の監督をしている者、地元で民生委員をしている者 等々。

同窓会を呼びかけたのは、大西信浩君だ。居酒屋「ふじき」の店主だ。彼は硬式野球部に所属し、大活躍をした 1 人だ。当時は、千里球場で開かれた大阪府予選に、我がクラス 3—8 会は全員で応援に出かけた。大西君のお父様・お母様も応援に来てくれた。クラスの皆様へと美味しいおにぎり 2 個・ジュース 1 本をもらい応援した。

大西君が 3 塁打を打った時、お父様の手がふるえタバコに火がつかなかった。やっぱり父親は、うれしかった！

おにぎりは、お母様の手作りだ。このクラスはいつも団結力は強かった。保護者会の役員も大西君のお母さんだ。学級通信も全部作ってもらった。

体育祭での河内音頭、チャチャチャのリズム（田原俊彦 ごめんよ涙）少し恥ずかしかったらしい。

文化祭書道展「三体千字分」500 字、夏休みの宿題、ちょい疲れたらしい。修学旅行の思い出等々部活合宿の話が出た。

名簿について「同窓会応援します」の広告を見て名簿を整理したらしい。又楽しかった事、小阪には化粧品メーカーの寮があり、お世話になったらしい。となりのクラスからも 1 名参加していた。お母様はいつも学校へ来られる時、和服で来られた。彼も父親の会社を継ぎ立派に大きくしているらしい。

最後に俺に商大節を歌わせてもらい、又全員で歌って午後 10 時タイムアウト。延々 5 時間の同窓会、楽しくて俺もアルコールも過ぎたのかな。「同窓会に参加して心はいつも青春時代に戻るのだ」。又来年もヤリマッセ。3 年間持ち上がりのクラス担任も変わらずよかったよかったの連発。もう俺も八十だ！でも頑張りマッセ。又来年もエクスペクトしてヤ。守りたい事、高橋君との約束だ。

【川柳】呼びすての 名前よびかう クラス会



「 雑 感 」

ワンダーフォーゲル部

2 代目主顧問 藤原 道弘 先生

とうこうせん

創部 50 年のあゆみ

記念誌号

校友会会員の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、大阪商業大学高等学校は、昭和 3 年創立し、来年(平成 30 年)90 周

年を迎えようとしています。クラブにおいても、昭和 4 年創部が硬式野球部・男子バスケットボール部・陸上競技部・卓球部、昭和 7 年が柔道部、昭和 24 年がサッカー部・軟式野球部、昭和 32 年がバレーボール部、ラグビー部、昭和 48 年がボクシング部、文化系では、吹奏楽部が昭和 9 年と、各クラブが、しっかりと今日まで活動し続けており、輝かしい成果を出しています。

ワンダーフォーゲル部の創部は昭和 39 年、新幹線が大阪東京間で開通し、東京オリンピックが開催された年でした。初代主顧問は、柴田巖先生（のちに 10 代校長）で、各地の山々を活動の場としていた。平成 26 年に創部 50 年を迎え、ささやかながら手作りの記念誌を編集して、クラブとして一つの区切りとしました。編集をするにあたり、資料を集めている中で驚かされたことがありました。それは現在とはまるで装備・装具・服装など山道具の重さや材質の違いでした。昭和の部員はたくましかった。なぜならば、1 人 30 kg 以上を背負って山に登らなければならなかったのだから。今にして思えば、懐かしい出来事でした。結びとして、記念誌のあとがきを掲載します。

「今年は平成 27 年、平成生まれが社会人になり、昭和は遠くなったような気がする。昨年ワンダーフォーゲル部創部 50 年。半世紀が経った。卒業部員は 100 名を超えた。創部時より競技登山は目指さず、ワンダーリングやトレッキングを主に活動を続けてきた。私の知る限りでは、一度も大きな事故とか大きな怪我はなかったことは嬉しい限りである。部員一人ひとりのクラブに対しての取り組みと姿勢の賜物である。このことは社会に出ても大いに発揮し、活躍してくれることであろう。目的・計画・実行・反省この流れは、社会一般の通念である。これをクラブ活動の中で身を持って体験し、学習している。しんどくても止まれば前には進まない。進まなければ目的地にはたどり着けない。したがってしんどくても止まるわけにはいかない。自分との闘いであり、周りとの協調性も必要である。団体行動

の最たるものである。目的地にたどり着いたときの喜びは、格別のものがある。経験をした者しか味わえないものである。これから未来永劫その喜びを多くの部員たちに味わって欲しいことを期待する。」各クラブの今後のご活躍を期待します。



「第14期生 卒寿記念同窓会」

第14期（昭和20年卒業）石橋 進

平成28年10月17日 卒寿記念同窓会に於いて、出席者6名で、今後この同窓会を続けるのか否かと長時間にわたり話し合いを致しました結果、お互い年齢を考えると、来年も必ず出席できると確約はできないので、卒寿記念同窓会、本年をもって卒業することに決定いたしました。

思えば昭和20年3月30日 第14期生として卒業し、確か第1回同窓会を昭和28年に今里新橋通りの小料理店で開催、その後毎年同窓会を開催し通算64年間に亘り同窓会を続けて参りました。これは同窓生一同の温かい熱意によるものと感謝致して居ります。

特に、会長になられた方々には心からお礼申し上げます。同窓会会長 山口成重さん、長谷川清平さん、玖村隆さん、そして幹事をして頂いた多くの諸兄に篤く篤くお礼を申し上げます。お元気で達者で、まず百歳を目指して頑張ろう。



新しい友の会について

わずか6名の同窓会でしたが11時から3時までの4時間、積もる話に花が咲くと言うのでしょうか、まず先生方に叱られた話、先生方のアダナ、勿論同級生のアダナ、通学時、鶴橋駅で樟蔭女学校専用の電車にうまく乗車出来た話、それから、卒業後の兵役についての話、戦後食糧難の話、仕事の話、結婚の話、子供、孫の話、現在の話、本当に男同士がこんなに喋るのかと感心しました。

そして、終了30分前、横浜市青葉台から泊りがけで新幹線で毎年出席してくれる辻本勇さんが、これで皆さんとお別れか、同窓会を楽しみに生きているのに、今回は一人では危ないと娘さんと昨日から来ているのに、なんとか出来ないかと緊急動議が出された。

出席者一同知恵を絞って、それでは出席できる人達と奥さん、息子さん、娘さん、孫さん、一緒に参加できる人達に参加して頂いて、私たち年寄りが戦前、戦中、戦後、どの様に生きて来たのか、戦前、戦後の思想の変わりかた、また人生色々な考え方、そんな事を勉強してもらうのも良いのでは無いかと言う事で、友の会として出発する事に成りました。同級生で連絡の取れる方が居られましたら是非お誘い下さい。

友の会 《第1回 平成29年度》

名称	城友会 大阪城東商業学校 第14期生
日時	平成29年10月16日（月曜日）
会場	KKR ホテル 大阪 清芳庵（茶室にて）
場所	大阪府中央区馬場町2丁目24号
電話	06-6941-2233
開場	11時 開宴 12時から15時まで
会費	1万円
	※ 環状線 森ノ宮駅下車 送迎バスあり

「オリンピックに想う」

第29期（昭和34年卒業）宮原 健

私が母校に奉職した翌年の昭和39年10月10日、第18回夏季オリンピック東京大会の開会式が行われた。

開会宣言後のファンファーレに続き、選手入場で演奏された古関裕而さん作曲のオリンピック・マーチのメロディが今も耳に残っている。特にファンファーレは、母校の体育祭の開会式で吹奏楽部員に演奏させたことが懐かしい思い出である。

東京オリンピック ファンファーレ

Andante

作曲 今井 光也



各国の選手団が入場し、最後に真っ赤なブレザーに白のズボン・スカートの日本選手団の整然たる入場行進には、誠に誇らしい気持ちで鳥肌の立つのを覚えた。

戦後 19 年にしてこんなにも立派に復興した日本の姿を世界中の人々に披露出来たことは誠に誇らしく感慨一入であった。

それから約半世紀たった平成 25 年 9 月、2020 年の夏季オリンピック・パラリンピックが再び東京で開催されることに決定した。「トーキョウ!」、IOC 会長ロゲ氏による発表を、今も忘れることができない。

昨年 6 月、ブラジル リオデジャネイロでのオリンピック開催に先立って、大阪商業大学蒼天ホールにおいてバレーボール日本代表女子チーム監督眞鍋政義氏の激励・壮行会が実施され、私も校友会会長として参加させていただいた。

眞鍋政義氏は、第 52 期生（昭和 57 年卒業）で、大阪商業大学卒業後、新日本製鐵に入社。黄金時代に参画され、平成 5 年からは選手兼監督として目ざましい活躍が評価され、平成 21 年から全日本女子チームの監督として手腕を発揮された。

母校の卒業生がこのような晴れ舞台の監督として活躍されたことは、まことに喜ばしい限りである。

8 月の本番では、連日連夜、日本選手団の活躍に一喜一憂して寝不足の目を擦りながらテレビ観戦をしたことが思い出される。

中でも印象に残っている競技は、女子レスリングだ。というのも、代表選手 6 名全員が、我が校の姉妹校である愛知県の至学館大学の出身であるということを知ったからだ。彼女たちの素晴らしい活躍に我が事のように喜んだのは私一人ではないと思う。

3 年後の 2020 年、56 年振りとなる「東京オリンピック競技大会」開催までの道程は、大変厳しいと思われるが、必ずや素晴らしい大会となり、我が後輩たちもその一翼を担ってくれることを期待して止まない。



P T A 機関誌「若竹会報」の投稿記事に加筆して転載。

「市議会議員選挙に参加して」

第 53 期（昭和 58 年卒業） 東野 義晃

昨年(2016年)9月11日(日)投開票の、大阪府和泉市の市議会議員選挙に友人のプロレスラー スペル・デルフィン候補が、(写真・本名は、非公表)2期目の挑戦をして彼から運転手での参加を、依頼され9月4日(日)から、10日(土)昼まで一緒に、選挙活動に従事してきました。日当の高さに、釣られて深く考えずに参加承諾したのが、大きな間違い。苦笑



選挙カーの運転手と、ウグイス嬢は税金により、所定の給料が支払われます。今回、議員定数 24 人に対して、立候補したのが 28 人。前回(4年前)は、2 位当選したので正直当選は間違いない。問題は、果たして何位当選かが、ポイントだった。大阪府では、無敵の感がある大阪維新の会からも、候補者が 3 人出馬。本人や我々スタッフの中では、5 位までの当選と読みながら、選挙活動開始。私の契約時間は、08:00~20:00 までの 12 時間。正直、大した事はない!と、気楽に考えての参加でした。選挙告示日、9月4日(日)から最終日の10日(土)まで、7日間の闘いが始まりました。

初日 4 日 08:00 前に、和泉市の選挙事務所の最寄り駅である北信太駅に到着。候補者は、すでにほかのスタッフと、スタンバイして駅利用者へ挨拶(声かけ)運動をしていた。良く聞くと、選挙期間中マイク使用可が、08:00 から 20:00 までとの事。それ以外は、常識の時間内であれば、地声で声かけ等 OK との事。怒涛の 1 週間が始まった。

和泉市の主要な駅、国道沿い、夕方の学校の前での声かけ運動。やはり、プロレスラーであるスペル・デルフィンの知名度は大きい。高校生位までの学生や、30 代位までの若い人への人気は凄かった。選挙カーに、飛びついてくる感じで皆が、寄ってくる。事故が怖かった。選挙運動には、勿論ウグイス嬢の力も大きい。主に大学生が担当したがスタッフのやりくりの関係で、時にはデルフィン夫人の、早坂好恵さんも担当された。さすが、芸能人(現在は、休業中)。声の張りが良い。非常に解りやすく話をする。お見事でした。

最終日、10日(土)所要あり昼で私の活動は、終わりましたが毎日仕事終わり、帰りの電車の中では、運転酔いをしてるみたい感覚がありました。毎日、見知らぬ人に頭を下げて候補者と一緒に、走った 1 週間。

開票日の 11 日(日)は、22:00 から開票速報が出ます。私も夕食食べてから和泉の選挙事務所へ移動。他の応援者と一緒にその時を待ちました。30 分毎に獲得数字の報告が入電。23:00 の

段階で、最終順位未定ながら「当確」判定。皆でバンザイ三唱。

最終結果は、目標の5位以内でなく定数24人中8位当選。本人は不満顔(あくまでも、私の感想)だったが、私には充分満足な結果でした。活動中は、他の候補陣営との闘いも経験しました。

こればかりは、経験したくてもなかなか出来ない経験と思う。活動中は、大変な仕事とと思ってましたが、自分の人生の中で記憶に残る思い出になりました。 (写真= 候補者のポスターの前で筆者)



「インターハイに出場して」

第87期(平成29年卒業) 山本 一真

中学時の私は、全国大会大阪府予選で1回戦負けする選手だったため、まさか自分がインターハイに出場することになるとは思っていませんでした。入学当初は明確な目標もなく、ただ先生に言われることを、言われるまま練習する毎日でした。しかし、2年生のインターハイ大阪予選で3位に入賞することができ、徐々に強くなっているという実感が湧いてきました。しかし、自信が驕りとなってしまったことなどにより、思うような結果が出ず、スランプの時期が続きました。

ある日、本校卒業生であり、現在はプロゴルファーとして活躍されている岡山絵里さん(平成27年卒業)にお会いでき、お話しする機会がありました。そして、試合時の気持ちの持ち方を教わりました。試合前から『結果』を考えすぎると、過度の緊張や不安でパフォーマンスが低下してしまう。目の前の試合に集中し、その試合で『実力を出しきること』だけを考え

ることで、いつも通りのパフォーマンスを発揮することができると。実力を出して負けてしまったのなら、実力不足であったと認めるしかない。岡山選手から教わったこの考えを実践したことで、私はスランプから脱することができました。

そして、全国大会へ繋がる最後の大会であるインターハイ大阪府予選を迎えました。この時も緊張はしましたが、もし負けたらその程度の実力であったと聞き直るようにしました。その結果、初戦から準決勝戦まですべて一本勝ちし、順当に決勝戦へ勝ち進むことができました。決勝戦の相手は、以前に負けたことのある選手であったこともあり、かなり苦戦を強いられましたが、なんとか勝つことができ、インターハイ出場の切符を手に入れました。

インターハイ本戦では、初めての全国大会であったことや、多くの方々からの期待を感じた事で、普段よりも緊張はしましたが、大阪府予選時と同様に聞き直った結果、苦戦しながらも3回戦まで勝つことができました。そして、準々決勝戦では、全力を出し切りましたが、全日本の強化選手である相手に何もさせてもらえず、負けてしまいました。非常に悔しい思いをしましたが、結果的には5位入賞ということで、中学時と比べて成長することができた実感できました。

この結果は、応援していただいた多くの方々のお蔭です。今後も、感謝の気持ちを忘れず、精進していこうと考えています。 写真 左 母校柔道部顧問 森安義次先生 ・ 右 山本一真 第75期生(平成17年卒業)



写真 左 母校柔道部顧問 森安義次先生 ・ 右 山本一真 第75期生(平成17年卒業)

「ファニーカンパニー ジャズ オーケストラ」

代表 藤原 昇 第38期(昭和43年卒業)

昭和50年、泉州を中心にジャズ愛好家が集まり、スウィングバンド「ファニーカンパニー」を結成。大阪府下の数多くのイベントに出演すると共に、国際的トランペッター日野皓正をはじめ多くの一流アーティストを招き毎年、クリスマス・コンサートを開催。

永年にわたり文化芸術の推進に寄与したとのことで、泉大津市教育委員会表彰をはじめ、朝日新聞社など数多くの感謝状等を受賞。近年は兵庫県や奈良・京都・和歌山・福井県でもライブやコンサートを行っており、特に、皇太子殿下・妃殿下をお迎えしての国内最大の文化の祭典である国民文化祭に、徳島大会、静岡大会と2度大阪

府代表として出場。その中でトリを務め日本アマチュアバンドの頂点にたった。そこで大阪府の名を高め府民文化の発展向上に貢献したとして大阪府知事表彰を受賞。これからもなお一層精力的な演奏活動を繰り広げ、多くの人たちの心に夢と感動を与えるアマチュアビッグバンドとして大いに期待される存在である。



平成28年度 校友会総会

平成28年5月28日(土)平成28年度校友会総会を大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」において開催した。

会長の挨拶に続いて母校の阪口耕次副校長先生よりお祝いの言葉を頂戴して総会が始まった。

総会の詳細は割愛するが、以下に平成27年度事業報告と会計収支決算報告書を掲載する。

平成27年度 事業報告

- 27. 4. 7(火) 母校 第88回 入学式に参列
- 5. 16(土) 第1回 本部役員会・第1回 幹事会 於 母校 視聴覚教室
- 5. 23(土) 平成27年度 総会・イベント・懇親会
 - 第1部 総会 於 商大ユニバーシティホール 蒼天
 - 第2部 河内音頭・地車囃子 於 同上
 - 第3部 懇親会 於 U・コミュニティホールL
- 9. 16(水) 母校 第87回 体育祭に参列
- 10. 3(土) 母校 第56回 文化祭に参加
- 11. 28(土) 第2回 本部役員会 於 母校 小会議室
- 28. 2. 20(土) 母校 第86回 卒業証書授与式に参列
- 3. 12(土) 第3回 本部役員会・第2回 幹事会 於 母校 視聴覚教室

平成27年度 校友会会計収支報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
前年度繰越金	6,386,946	総会費	135,800
会費	2,040,000	懇親会費用	270,000
懇親会会費	187,000	役員会費	69,200
校友会活動賛助金	391,000	通信費	935,239
賛助広告料	314,000	印刷費	136,620
雑収入	1,159	消耗品費	101,148
		雑費	26,784
		広報宣伝費	683,344
		諸集会費	40,000
		慶弔費	106,059
		育英奨学費	0
		クラブ活動補助	135,000
		学園祭補助	225,000
		予備費	126,260
収入の部合計	9,320,105	支出の部合計	9,320,105
単年度収入合計	2,933,159	単年度支出合計	2,990,454

収入総額 ¥9,320,105 - 支出総額 ¥2,990,454 = 次期繰越 ¥6,329,651

平成27年度の収支決算を監査の結果、財産状態 監査 赤部 功
ならびに運営状況を適正に表示しています。 井野 早雄

平成28年5月10日

[印省略]



校友会創立15周年記念 懇親会

平成28年5月28日(土)

於 U・コミュニティホールL

第87期生 360名 校友会会員に

校友会としては初めての試みとして卒業証書授与式の前日、2月24日(金)体育館で予行演習が行われていた会場にお邪魔して、最後に校友会の趣旨説明と激励の言葉を述べる事ができた。翌25日(土)第87期生の卒業証書授与式が挙行された。



定刻前、胸にコサージュを付けた卒業生が、学級担任の引率によって紅白の幕が張られた式場に入場。厳粛な式の準備が粛々と進む様は見ていて非常に清々しい思いであった。

開式に先立って、司会の西田博教頭先生から来賓の方々を紹介され、式は定刻に始まった。

はじめに、副校長阪口耕次先生より学事報告があった。本年度の卒業生は、昭和7年3月、旧制大阪城東商業学校の第1回から通算すると第87回にあたる。昭和24年3月新制高等学校の第1回から通算して第69回である。その間の卒業生総数は、実に29,892名にも上るとのこと。母校の偉大な歴史を感じずにはいられない。

また、平成15年度から普通科にコース制が採用され、共学制が発足して12回目の卒業証書授与式に当たり、

女子の卒業生も今年の96名を加えて668名に上った。

担任教諭から卒業生の氏名が読み上げられ、それに応じて自席で起立し、クラスの代表者が式場の中央に設置された演壇で学校長好永保宣先生から卒業証書が授与された。続いて、学校長の式辞、来賓の学校法人谷岡学園理事長・大阪商業大学学長谷岡一郎先生の祝辞、PTA会長新谷雅勝氏からの励ましの言葉が贈られた。



祝電披露に続いて、在校生代表の北健吾君からの「送辞」、卒業生代表の佐竹新太郎君から「答辞」と進み、最後に「校歌」を斉唱した後、校友会会長から卒業生代表にお祝いの花束が贈呈され、式は滞りなく終了した。(送辞・答辞の全文をp.13に収録)

卒業生の退場は、クラスごとに中央で横一列に整列し、“気を付け・礼”全員揃って“ありがとうございました”とお礼の言葉を述べ、参列した人たちの拍手に送られて、爽やかな顔をして式場を後にした。

今回の卒業証書授与式も、実に清々しく威厳に満ちた素晴らしい式に参列して、若い人たちのパワーを吸収し、爽やかで晴れ晴れした一日であった。(文責 宮原)



■ 卒業生数の累計

第87回 卒業証書授与式 平成29年2月25日現在

学 校 名	全 日 制			定 時 制		合 計		累 計
	商業科(男)	普通科(男)	普通科(女)	商業科(男)	商業科(女)	男 子	女 子	
大阪城東商業学校 (旧制) 昭和6年度～昭和25年度	2,735			1,339		4,074		4,074
城 東 高 等 学 校 (新制) 昭和23年度	16					16		4,090
大阪城東大学附属高等学校 昭和24年度～昭和26年度	206	84		139		429		4,519
大阪商業大学附属高等学校 昭和27年度～平成3年度	5,875	10,970		591	26	17,436	26	21,981
大阪商業大学高等学校 平成4年度～平成27年度		7,005	546			7,005	546	29,532
平成28年度(第87期生)		264	96			264	96	29,892
小 計	8,832	18,323	642	2,069	26	29,224	668	
合 計		27,797		2,095		29,892		

※ 大阪城東商業学校の 全日制商業科＝第1本科、定時制商業科＝第2本科 と読み替える。

大阪商業大学附属中学校 昭和22年度～昭和31年度	1,171
---------------------------	-------

附属中学校は、昭和30年4月以降、生徒募集中止。
旧制商業学校・高等学校・中学校の 総計 31,063 名

「第 87 回 卒業式を終えて」

母校 平成 28 年度 第 3 学年主任
上 田 英 明 先生

平成 29 年 2 月 25 日、第 87 回卒業式において、360 名の生徒たちがそれぞれの進路に向けて期待に胸をふくらませて本校を巣立っていきました。

高校生という期間は大人でもなく、かといって未成熟な子供でもない、曖昧な期間です。この期間に十分力を蓄え、社会において自分で身を立てられるようにサポートしていくのが、我々教員団の役割であると認識しています。

毎回の学年集会・総合学習における司会をクラス会長が担うことによって、自分たちの事は自分たちで行なうのだという意識を芽生えさせ、成長を促していきました。最初は緊張でたどたどしかった様子も、次第に頼もしい姿でマイクを握ることができるようになっていきました。

3 年間を通して生徒たちに伝えていたことは、「考える」ということです。これまでは大人の言うことを素直に聞いていただけで良かった学校生活が、徐々にそれだけでは済まなくなります。どう行動を起こしたら良いのか。その結果はどうなるのか。問題を解決するためには何を、どうしたら良いのか。どうすれば本校の校訓にある「世に役立つ

人物」となれるのか。指示通りに動くだけではなく、自ら考えて行動を起こせるよう生徒たちを導いていきました。

多くの生徒たちと、様々な出会いがありました。学校という場合は、とても素晴らしく、可能性にあふれた空間であると思います。そのような出会いを頂けて、とても嬉しく思います。

最後になりましたが、支えていただいた関係者の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

平成28年度 第3学年 担任団 (敬称略)



- | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|
| 森
安
義
次 | 東
郷
靖
彦 | 中
野
匡
樹 | 上
田
英
明 | 西
山
直
良 | 入
江
崇
夫 | 森
脇
順 | 野
村
洋
佑 | 酒
井
克
典 | 山
畑
範
明 | 松
田
周 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|

■ 大学・短大・専門 各種学校 合格状況

※ 数値は延べ合格数

3 月 8 日 現在

四年制大学名	合格	四年制大学名	合格	短期大学名	合格	専門・各種学校	合格
【系列大学】		近 畿 大 学	3	【私立短期大学】		大 阪 工 業 技 術 (専)	1
大 阪 商 業 大 学	91	甲 南 女 子 大 学	2	大 阪 キ リ ス ト 教 短 期 大 学	1	大 阪 歯 科 衛 生 士 (専)	1
神 戸 芸 術 工 科 大 学	9	甲 南 女 子 大 学	2	大 阪 国 際 大 学 短 期 大 学 部	1	大 阪 情 報 コ ン プ ュ ー タ (専)	1
【国公立大学】		神 戸 学 院 大 学	4	大 阪 信 愛 女 学 院 短 期 大 学	1	大 阪 調 理 製 菓 (専)	1
徳 島 大 学	1	神 戸 国 際 大 学	1	大 阪 成 蹊 短 期 大 学	1	大 阪 デ ザ イ ナ ー (専)	2
【私立大学】		嵯 峨 美 術 大 学	3	大 阪 夕 陽 丘 学 園 短 期 大 学	1	大 阪 ビ ュ ー テ ィ ア ー ト (専)	1
亜 細 亜 大 学	1	四 天 王 寺 大 学	2	関 西 外 国 語 大 学 短 期 大 学 部	7	大 阪 府 病 院 協 会 看 護 (専)	1
追 手 門 学 院 大 学	14	摂 南 大 学	8	近 畿 大 学 短 期 大 学 部	1	大 阪 法 律 (専)	3
大 阪 大 谷 大 学	2	相 愛 大 学	2	四 天 王 寺 大 学 短 期 大 学 部	2	大 原 情 報 デ ザ イ ン ア ー ト (専)	1
大 阪 学 院 大 学	7	千 葉 商 科 大 学	0	常 磐 会 短 期 大 学	1	大 原 簿 記 法 律 (専)	3
大 阪 観 光 大 学	1	中 央 学 院 大 学	2	奈 良 芸 術 短 期 大 学	1	関 西 医 科 (専)	5
大 阪 経 済 大 学	10	帝 京 科 学 大 学	1	短期大学合計	17	高 津 理 容 美 容 (専)	2
大 阪 芸 術 大 学	1	帝 塚 山 大 学	10	大学合格数	297	小 阪 病 院 看 護 (専)	1
大 阪 工 業 大 学	4	同 志 社 大 学	1			修 成 建 設 (専)	1
大 阪 国 際 大 学	1	天 理 大 学	4			辻 製 菓 (専)	1
大 阪 産 業 大 学	6	名 古 屋 産 業 大 学	2			奈 良 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン (専)	1
大 阪 成 蹊 大 学	2	奈 良 大 学	2			西 日 本 ヘ ア メ イ ク カ レ ッ ジ	1
大 阪 体 育 大 学	2	八 戸 学 院 大 学	1	専門・各種学校	合格	日 産 京 都 自 動 車 大 学 校	1
大 阪 電 気 通 信 大 学	7	阪 南 大 学	10	E C C コ ン プ ュ ー タ (専)	2	日 本 医 療 学 院 (専)	1
大 手 前 大 学	2	ブ ー ル 学 院 大 学	1	E S P エ ン タ テ イ ン メ ン ト (専)	2	日 本 歯 科 学 院 (専)	1
関 西 学 院 大 学	2	佛 教 大 学	1	ヴェ ー ル ル ー ジ ュ 美 容 (専)	1	日 本 モ ー タ ー ス ポ ー ツ (専)	1
関 西 大 学	3	桃 山 学 院 大 学	22	上 田 安 子 服 飾 (専)	1	阪 奈 中 央 看 護 (専)	1
関 西 外 国 語 大 学	7	森 ノ 宮 医 療 大 学	1	大 阪 E C O 動 物 海 洋 (専)	1	放 送 芸 術 学 院 (専)	2
関 西 福 祉 科 学 大 学	2	立 命 館 大 学	2	大 阪 ア ニ メ ー シ ョ ン ス ク ー ル (専)	1	森 ノ 宮 医 療 学 園 (専)	2
畿 央 大 学	1	龍 谷 大 学	3	大 阪 医 専	1	行 岡 医 学 技 術 (専)	1
京 都 産 業 大 学	11	流 通 科 学 大 学	1	大 阪 外 語 (専)	1	履 正 社 医 療 ス ポ ー ツ (専)	2
京 都 造 形 芸 術 大 学	2	四年制大学合計	280	大 阪 キ ャ リ ナ リ ー 製 菓 調 理 (専)	2	専門・各種学校合計	51

「ハワイ修学旅行」

母校 第3学年主任 坂口 洋平 先生
第60期（平成6年卒業）・校友会 書記

平成28年度の修学旅行は、一昨年、昨年度に引き続きハワイで実施しました。生徒たちにとって最も楽しみである行事を、安心・安全に終えるため、日々の学習や集団行動だけでなく事前学習に重点を置き、生徒たちが自主的・主体的に取り組めるようにプログラムを組みました。また、今回は「平和学習」も取り入れ、楽しいだけの修学旅行では終わらない、学びの体験としました。

1日目は、その平和学習として「パンチボウル」での車窓見学を行いました。時差ボケで疲れているなか、生徒たちは真剣な眼差しで見学していました。当時の兵士たちに黙祷を捧げる生徒もいるなど、平和学習の意義を十分に理解して取り組んでくれました。また、初日から生徒たちは食事の量の違いに対する驚きや、スーパーでの支払い時のとまどいなど、異文化にどっぷりと浸かってきており、有意義な旅の始まりを感じさせてくれました。

2日目は、「プリンガムヤング大学」において、現地大学生との交流を、コース別に特色をいかした形式で行いました。日々の英会話の授業の成果をいかそうと、生徒たちは熱心にコミュニケーションを取っていました。その後の「ポリネシアカルチャーセンター」でも、異文化について興味深く体験してくれていました。「ディナークルーズ」では、美しいハワイの夜景に心奪われ、美味しい食事とクルーたちのショーも楽しみ、満足そうな生徒たちの様子が印象深いものとなりました。

3日目は、3つのプログラム（ダイヤモンドヘッドトレッキング・ワイキキビーチ遊泳・ホノルル動物園見学）を楽しみました。その後、修学旅行において、最も自主・自立の成果が試される、「班別自主研修」を行いました。事前に指導をしていたものの、教員たちはほのかな不安を抱えていたところもありました。しかし、アラモアナショッピングセンターでの途中点呼も無事に通過、そして全員が無事にホテルへ帰着することができました。積極的にバスを利用したり、班員同士で力をあわせて困難を乗り越えたりと、ここまでの学校生活を通しての成長ぶりを見せてくれ、たいへん頼もしく感じました。この3泊5日の修学旅行を通しての体験が、生徒たちの良き思い出になってくれればと思います。

大きなけがや病気もなく、全員が無事に修学旅行を終えることができました。これは、生徒ひとりひとりの自覚ある行動、

学年を越えての教員たちの団結、そしてなにより保護者の皆様の協力のおかげです。今回の修学旅行で学んだ経験をもとに、残された学校生活も有意義に過ごし、来たるべき進路の実現にも活かして行ってほしいと思います。そして、私たちも生徒の可能性をまだまだ引き出せるよう、引き続き日々の指導に取り組んでいこうと、心新たに決意しております。



プリンガムヤング大学での交流会



ポリネシア・カルチャー・センター



ディナークルージングでのダンスショー



ワイキキビーチ

「送辞」

在校生代表 北 健吾 君

厳しい寒さがまだ残りつつも日差しに暖かさを感じられる季節になりました。このような佳き日に卒業生の皆様が晴れて大阪商業大学高等学校の卒業を迎えられましたことを在校生一同心からお祝い申し上げます。

今、卒業生の皆様は、この大阪商業大学高等学校での三年間をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。たくさんの人との出会いの中で貴重な体験をし、かけがえのない思い出を築き上げてこられたことと思います。

私たちもこの学校でかけがえのない思い出を卒業生の皆様と築き上げることができました。

体育祭の応援パフォーマンスでは、下級生をまとめ、リーダーシップを発揮し、素晴らしいパフォーマンスに感動しました。文化祭では、どのクラスも文化祭を盛り上げるために模擬店やクラス発表を成功させようとする姿を見て、私たちも頑張ろうと思いました。

部活では、卒業生の皆様には常に私たちの前に立ち、

様々なことを教えていただきました。時に厳しく、時に優しく接して下さった卒業生の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。私たちが本校で卒業生の皆様と共に学んだ時間は、とても得難い経験であり、卒業生の皆様は私たちにとって誇りです。

これから大学や専門学校や就職を目の前にしている卒業生の皆様には、たくさんの困難や大きな壁が待ち受けていると思います。ですが、この大阪商業大学高等学校で三年間学んできたことを思い出し、困難を乗り越え、夢と希望を失わずにご活躍下さい。

我們在在校生も卒業生の皆様が築いた大阪商業大学高等学校の伝統を守り、受け継ぎ、後輩の見本となるよう精一杯精進していきます。

そして、またお時間のある時には私たちの姿を見に学校にいつでも遊びに来てください。お会いするのを楽しみにしています。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご活躍とご健康をお祈りし、送辞といたします。

「答辞」

卒業生代表 佐竹 新太郎 君



冬の季節が終わりを告げ、春の訪れを感じさせる頃になりました。

本日は多数の御来賓の皆様、保護者の皆様にご出席いただき、このような盛大な卒業式を挙げていただきますことを卒業生一同、心より御礼申し上げます。

三年前の春、ぶかぶかの制服に身を包み、大きな期待と不安を秘めながら入学式をむかえました。普通なら、ここから日々を過ごしているうちに友人もでき、不安が消え、楽しい三年間になっていくでしょう。ですが、不器用な僕は、不安こそ消えましたが、決して楽しいということもなく、可もなく不可もない毎日を過ごしていました。

そんな僕ですが、ふとしたきっかけで生徒自治会に所属し、三年生になると、生徒自治会長に就任致しました。そして「文化祭」や「体育祭」などの行事を運営していく立場になり、まだ知らない生徒達や先生方と深く関わり合いを持つようになりました。そこから僕の今までで過ごしてきた学校生活は大きく変化していきました。

体育祭では、クラスの垣根を越え、団をつくり、他の団に勝つために競い合いました。勝負に負けて悔しがる生徒もいましたが、最後はどの生徒も笑顔になっていたのが印象的でした。

文化祭では各クラスが色とりどりの出店や出し物を出し、舞台発表では、劇やダンスや歌唱、そしてDJなどの多彩な発表をしました。どの出し物も一生懸命練習を

重ねたことがわかるすばらしい出来ばえでした。

何事も全力で取り組み、楽しむ心。

私たちはこれから一人一人自分の道を歩んでいくこととなりますが、この心さえ忘れなければ、どんな困難な壁も乗り越えられそうな気がします。

本日、私たちは卒業します。この卒業は一人一人胸の内です。それぞれ違う意味をもっていることなのでしょう。しかし、これだけは断言できます。この卒業は自分一人だけのものではないと。親、先生方、別の道を選択し、高校を去った友人たち。私たちの高校生活は、たくさんの人の一瞬一瞬によって積み重なっています。

あの時の笑顔も、楽しさも、嬉しさも、苦しみも、悔しさも、辛さも、すべてが今日の卒業につながっています。思い出してみると、あの不安定な足取りで歩んでいた私たちは、多くのことを吸収していきつつ、多くの友人と支えあいながら、前を向いて歩んできたのだと思います。

これから先、私たちの未来はどうなるでしょう。例えくじけそうになることがあっても、高校での毎日を乗り越えた自分に自信をもち、一歩ずつ確かな足取りで歩む。そんな強さが私たちにはあると信じています。

今、この学校を胸を張って笑顔で卒業できることが誇らしくてたまりません。

最後になりますが、ご来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、そして、高校で出会った全ての方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。我が母校、大阪商業大学高等学校の限りない発展と後輩の皆さんの活躍を願って、第 87 期代表の答辞と致します。

2016年度 クラブ実績

☆印…全国大会 / ◇印…府県代表

硬式野球部	[昭和4年創部]	
□ 春季近畿地区大会大阪府予選		2回戦
□ 全国高校野球選手権大阪大会		ベスト16
□ 秋季近畿地区大会大阪府予選		ベスト16

サッカー部	[昭和24年創部]	
□ 大阪高校春季大会		3回戦
□ 高円宮杯U-18サッカーリーグ3部		7位
□ 大阪私学大会		ベスト8
□ 全国高校サッカー選手権大阪大会		2回戦

男子バスケットボール部	[昭和4年創部]	
□ 大阪高校バスケットボール選手権大会		ベスト8
□ 大阪高校総体バスケットボール選手権大会		ベスト8
□ 大阪高校バスケットボール新人大会		ベスト16
□ 府商協バスケットボール大会(商業大会)		優勝

バレーボール部	[昭和30年創部]	
□ 全国高校総体大阪府予選		ベスト8
◇ 近畿高校バレーボール優勝大会		2回戦
□ 全日本バレーボール高校選手権大会大阪府予選		第3位
□ 大阪高校新人大会		ベスト8
□ 大阪私学大会		第3位

陸上競技部	[昭和4年創部]	
□ 阪奈和高校対抗陸上競技大会	笹井加奈 走幅跳	5m31 3位
	男子4×100mR	42"68 4位
□ 大阪高校陸上競技対抗大会	男子4×100mR	42"11 準決勝進出
□ 大阪高校総体	岩崎義起 100m	11"12 5位
□ 大阪府商業高校陸上競技大会	男子	総合優勝
□ 大阪私立高校総体	植田光 5000m	15'54"32 4位
	巴山雄介 100m	11"02 7位
□ 全国高校駅伝大阪予選会	男子	出場

ラグビー部	[昭和32年創部]	
□ 大阪府高校総体		Cシールド権獲得
□ 全国大会7人制大阪府予選		1回戦
□ 全国大会大阪府予選		決勝トナメント進出

剣道部	[昭和4年創部]	
□ 大阪私学大会		出場
□ 全国総体大阪府予選		出場
□ 大阪総体		出場
□ 新人戦		出場

ボクシング部	[昭和48年創部]	
□ 全国高校選手権大阪府予選		出場
□ 国民体育大会大阪府予選		出場
□ 大阪高校総体		出場
□ 大阪高校新人大会		出場

硬式テニス部	[昭和4年創部]	
□ 平成29年度大阪高校春季テニス大会		出場
□ 第72回大阪高校総体テニス大会		出場
□ 平成29年度大阪高校秋季テニス大会		2回戦
□ 第30回大阪高校サマーテニストーナメント		2回戦
□ 第11回第3学区テニストーナメント		出場

ゴルフ部	[平成19年創部]	
□ 全国高等学校ゴルフ選手権大会		
	(個人の部 女子) 西村 優菜	11位
	(個人の部 男子) 田中 裕真	12位
□ 日本ジュニアゴルフ選手権競技		
	(個人の部 女子) 西村 優菜	13位
	(個人の部 男子) 植田 晃大	10位

柔道部	[昭和7年創部]	
□ 大阪府高体連私学大会(個人)	井上壱聖 66kg級	3位
	児玉諒平 90kg級	3位
□ 大阪府高体連私学大会(団体)		3位
□ 大阪高校総体柔道の部	山本一真 73kg級	優勝
☆ 全国高校総体柔道の部	山本一真 73kg級	5位

女子バスケットボール部	[平成20年創部]	
□ 全国高校バスケットボール選手権大会 大阪府予選		4回戦
□ 府商協バスケットボール大会(商業大会)		2回戦
□ 大阪高校総体バスケットボール大会		3回戦
□ 大阪府私立高校総体バスケットボール選手権大会		2回戦
□ 大阪高校バスケットボール新人大会 東地区大会		3回戦

軟式野球部	[昭和24年創部]	
□ 春季近畿地区高校軟式野球大阪大会		準優勝
◇ 春季近畿地区高校軟式野球大会		準優勝
□ 全国高校軟式野球大阪大会		ベスト4
□ 秋季近畿地区高校軟式野球選手権大阪大会		ベスト8

ダンス部	[平成23年創部]	
□ NHC HIGH SCHOOL DANCE FESTIVAL		出場
□ DANCE BRIDGE		出場

空手道部	[平成24年創部]	
□ 第40回大阪府高校空手道新人大会 個人組手		2回戦

漫画研究部	[平成20年創部]	
□ 第25回全国高校漫画選手権大会(まんが甲子園)		参加

■ 平成28年度 デザイン美術コース コンクール等 入賞一覧表

“世紀のダ・ヴィンチを探せ” 高校生アートコンペ2016	一次審査通過	2名	
第9回 サブローごまデザインコンテスト	大阪樟蔭女子大学賞	2名	セイリュウ賞 1名
第28回 全国デザイン・イラスト展	全国入選	1名	近畿・中部地区 地区入選 1名
第24回 大阪府青少年読書感想画コンクール	優秀賞	1名	優良賞 3名 高等学校の部 1名
献血啓発作品ポスター原画募集事業	優秀賞	1名	入賞 6名
第62回読書感想画コンクール	優秀賞	1名	

■ 全国商業高等学校協会 簿記検定試験 合格者数一覧表

■ 平成29年3月 卒業生進路状況

回数	実施日	1 級			2 級	3 級	合計
		総合	会計	原計			
76	平成25年6月23日	2	2	12	64	13	93
77	平成26年1月26日	0	0	8	9	160	177
78	平成26年6月22日	7	14	6	68	6	101
79	平成27年1月25日	1	7	7	40	112	167
80	平成27年6月28日	0	6	5	15	27	53
81	平成28年1月24日	0	1	5	18	111	135
82	平成28年6月26日	1	1	6	24	34	66
83	平成29年1月22日	0	0	6	18	139	163

進路状況	合格	割合
大阪商業大学	89名	24.7%
神戸芸術工科大学	9名	2.5%
他四年制大学	113名	31.4%
他短期大学	14名	3.9%
専門学校	51名	14.2%
就職	21名	5.8%
その他未定・出願中	63名	17.5%
卒業生総数	360名	100.0%

◎ 総合 1 級は、「会計」と「原計(原価計算)」の両科目を合格した者

(ゴシック=系列大学)

(3月12日現在)

<p>校友会 常任幹事</p> <p>澤井 駒一</p> <p>第28期 昭和33年卒業</p> <p>八尾市本町6-14-8-4003</p> <p>TEL&FAX 072-970-5540</p>	<p>フナーカンパニー・ジャズ・オーケストラ FUNNY COMPANY JAZZ orchestra</p> <p>校友会副会長 藤原 昇</p> <p>第38期 昭和43年卒業</p> <p>泉大津市松之浜町1-17-11</p> <p>TEL&FAX 0725-33-3904</p>	<p>校友会 副会長 (母校教諭)</p> <p>五十川 精三</p> <p>第48期 昭和53年卒業</p> <p>大阪府南河内郡太子町山田823-6</p> <p>TEL 0721-98-0653</p>	<p>第29期 昭和34年卒業</p> <p>西川 恒廣</p> <p>大阪市平野区長吉出戸7-6-3</p> <p>TEL 06-6790-8133</p>
<p>校友会 副会長 英文タイプ部</p> <p>徳重 悟</p> <p>第47期 昭和52年卒業</p> <p>大阪市此花区春日出北3-8-9</p> <p>TEL 06-6464-6418</p>	<p>株式会社 壽精工 工場長</p> <p>中井 司</p> <p>第49期 昭和54年卒業</p> <p>東大阪市中野1-19-24</p> <p>TEL 072-967-1836</p>	<p>バスケットボール部OB会会長</p> <p>剣持 宣博</p> <p>第60期 平成2年卒業</p> <p>大阪府城東区放出西2-10-28-304</p> <p>TEL 090-2356-1198</p>	<p>校友会 副会長</p> <p>森田 賢二</p> <p>第29期 昭和34年卒業</p> <p>〒577-0016</p> <p>東大阪市長田西1-3-10</p> <p>TEL&FAX 06-6788-1667</p>
<p>校友会 会長</p> <p>宮原 健</p> <p>第29期 昭和34年卒業</p> <p>〒639-1058</p> <p>大和郡山市矢田町5895-34</p> <p>TEL&FAX 0743-52-4100</p>	<p>校友会 事務局長</p> <p>田中 修</p> <p>第38期 昭和43年卒業</p> <p>〒579-8014</p> <p>東大阪市中石切町2-8-25</p> <p>TEL&FAX 072-987-9618</p>	<p>大阪・港 海遊館通り</p> <p>喫茶 軽食 ロマン</p> <p>矢津 武志</p> <p>第37期 昭和42年卒業</p> <p>〒552-0021 大阪市港区築港4-3-24</p> <p>TEL & FAX 06-6571-1579</p>	<p>住まいの 総合商社</p>  <p>戸建住宅・注文住宅・建築・設計・施工</p> <p>大黒住建株式会社</p> <p>愛知 浩</p> <p>第54期 昭和59年卒業</p> <p>大阪府羽曳野市野々上2丁目11番3号</p> <p>TEL (072) 938-2551・FAX (072) 938-2513</p>
<p>植田 生花</p> <p>稽古用盛花・御流儀・家庭用盛花 各種アレンジ花・生込み</p> <p>代表 植田 恭啓</p> <p>第61期 平成3年卒業</p> <p>〒581-0874 八尾市大竹 7-254</p> <p>TEL&FAX (072) 940-7906</p>	<p>スキ一部OB会</p> <p>ホームページ開設しました。</p> <p>http://shodai-skiclub.sblo.jp/</p> <p>スキ一部OBの同窓会の 開催予定などホームページ より情報発信しています。</p>	<p>校友会 相談役</p> <p>沖田 義彦</p> <p>第22期 昭和27年卒業</p> <p>〒577-0804 東大阪市中小阪 1-3-8</p> <p>TEL & FAX 06-6722-4901</p>	

ヘアブラシ、ハブラシ、洋服ブラシを創り続けた

創業80余年の実績

第23期 昭和28年 卒業

代表取締役会長 **池本 繁喜**

品質がメッセージ

池本剛子工業株式会社

本 社：〒578-0834 東大阪市玉串町西1-3-27
PHONE 072-964-2331 FAX 072-964-9363
support@ikemoto-brush.co.jp http://www.ikemoto-brush.co.jp/
東京営業所：〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11-8
PHONE 03-5623-3040 FAX 03-3664-5330



祝 総会開催

新テイコク薬業株式会社

取締役社長 **藤川 良純**

第26期 昭和31年卒業 校友会副会長

〒577-0816 東大阪市友井 5-4-39

TEL 090-1071-5726

丸三運輸倉庫株式会社

代表取締役社長 **宮田 宏**

第30期 昭和35年卒業

本社 〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町上須恵 1408-1
新原工業団地内



TEL 092(957)0270(代)
FAX 092(957)0271

校友会 常任幹事

石河 鴻一

第31期 昭和36年卒業

〒556-0023 大阪市浪速区稲荷 1-12-3-504

TEL 090-3266-5149

営業品目

ビニール生地
ビニールテープ
ビニール製品・印刷
ポリシート・腕章
のぼりポール・スタンド
及切断加工

長堀化成品株式会社

代表取締役 **大橋 貞弘**

第31期 昭和36年卒業

大橋 健弘 第66期 平成8年卒業

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-17-14

TEL(06)6252-6868(代) FAX(06)6243-2678



石切神社参道・海鮮市場

岡本 勝彦

第33期 昭和38年卒業

〒579-8011

東大阪市東石切町 1-5-30

TEL 072-981-3423

TESSUTO

代表取締役 **砂金 光夫** 第39期 昭和44年卒業

株式会社 テス ト

〒579-8027 大阪府東大阪市東山町 4-1

TEL : 072-986-5357 FAX : 072-986-5359

E-Mail : mitsuo-sunagane@tessuto.co.jp

田坂会計事務所

所長 税理士 **田坂 隆司**

第63期 平成5年卒業

☎550-0015

大阪市西区南堀江 2-1-1 ブリエ南堀江 2階

TEL 06(6532)8533 FAX 06(6532)8534

URL <http://www.tasaka-kaikei.com>

E-mail tasaka-kaikei@tkcnf.or.jp

中央大学

学校法人中央大学商議員

中央大学学生会協議員

白門三六会会長

信窓会相談役

社会福祉法人日本盲人職能開発センター 評議員

特定非営利活動法人

埼玉リハビリテーションボランティア協会 理事

特定非営利活動法人SOS 総合相談グループ 相談委員

埼玉県年金委員会 理事

社会保険労務士

年金委員(厚生労働大臣委嘱)

高橋 利夫

第24期(昭和29年卒業)

〒330-0072

埼玉県さいたま市浦和区領家6-13-17

(電話・FAX)048-833-7138

■ かきかた教室を開きませんか ■

独自に開発した読み書きの教材
「花文字」と「ピーターパン」を使って
開塾のお手伝いをさせていただきます
また 現在書道塾を運営されている方も
このテキストをご活用ください

ユニークで楽しい教材 花文字



教材案内 花文字 入門・応用・ピーターパン No.1~32
1年漢字セット No.1~32 ペン字教本 等

編集・発行責任者 **伊藤 影心**

(第29期 昭和34年卒業 伊藤 榮信)

詳細は、090-4293-8521

安田岡本特許事務所

“新しいモノづくりへの挑戦”

特許権や商標権を始めとする知的財産権の保護・活用は、わが国産業活性化のための最も重要なファクターです。知的財産権は何も大企業だけのものではありません。むしろ中小企業、ベンチャー企業の皆様にとってこそ、この不況の中で“勝ち組”となるための必須条件です。

安田岡本特許事務所は、国内はもとより外国出願、さらに侵害訴訟を含む紛争解決においても長年の経験とノウハウを蓄積しており、常に皆様の良きビジネスパートナーであり続けたいと考えています。

特許・実用新案・意匠・商標等の知的財産に関するご相談がございましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

お陰様で同窓生の皆様方から多数のご相談を賜っております。

〔 所長 弁理士 安田 幹雄 〕

パートナー 弁理士 岡本 宜喜
 弁理士 片桐 務
 弁理士 武藤 正
 弁理士 坂戸 敦
 弁理士 国立 久

総員 27 名(弁理士含む)

〒577-0066

大阪府東大阪市高井田本通 7-7-19 昌利ビル7階・6階

地下鉄中央線「高井田」駅2号出口

JRおおさか東線「高井田中央」駅

しょうり

昌利ビル7階・6階

西へ徒歩1分

12期・本校元教諭

会長 弁理士 安田 敏雄

—会長略歴—

昭和 17 年 12 月

昭和 21 年

昭和 21 年～35 年

昭和 32 年

昭和 53 年

平成 3 年

平成 9 年

本校卒業(第 12 期)

官立大阪工業専門学校

(現大阪府立大学工学部)卒業

本校教諭(物理、化学、商品学)

弁理士登録

弁理士会(現日本弁理士会)副会長

黄綬褒章受章

勲五等双光旭日章受章

TEL 06-6782-6917(代表)

FAX 06-6782-6900

E-mail : main@actelpat.com

おかげさまで卒業生数27年間連続大阪No.1

車種 普通 普通二輪 大型二輪 普通二種

高齢者・初心者・違反者・ペーパードライバーの各種講習

地域と歩む安全運転センター八戸ノ里ドライビングスクール



大阪府公安委員会指定

八戸ノ里ドライビングスクール
 やえのさと

〒577-0034 東大阪市御厨南1-4-38 ☎0120-831024

取締役会長 谷岡 剛 (第25期 昭和30年卒業)

酵素一筋46年 生命あるところに酵素あり

さあ、次はあなたです！

今ならキャンペーン実施中！

税込・全国送料無料



飲む美容液「酵素飲料」 モルセラ デラックス

味：プレーン味、梅味 1本（1,000ml）

通常価格 16,200 円 → 特別価格 9,720 円

さらにお得！

3個セットで1個当り 8,750 円
6個セットで1個当り 7,777 円

商品のご紹介

- 商品名：酵素飲料「モルセラ デラックス」
- 名称：純植物性酵素飲料（清涼飲料水）
- 内容量：1,000ml
- 商品説明：旬の野菜・果物・穀物・野草・海草・樹液など約60種類の原材料から特殊技術でエキスを抽出し、大切に熟成発酵させた手作り酵素飲料です
- 販売者：株式会社 アリカ
- 生産国：日本
- お召し上がり方法：1日2～3回を目安に、原液のまま、または氷で割ってお召し上がりください。



酵素は自然の贈りもの。

株式会社 アリカ

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-14-8 天神センタービル6F

赤部 功 第28期(昭和33年卒業)



0120-11-0204

24時間受付(月曜～土曜 AM10:00～PM8:00)
※ 日曜夜間は留守番電話が承ります

FAX 0120-22-3782 [24時間受付]

- ※ 送料は当社負担。
- ※ 商品はお申込み後1週間以内にお届けします。
- ※ 支払は代金引換、又は各種クレジットカード。(手数料無料)
- ※ 返品は未開封に限り8日以内。(返送料はお申込者負担)

校友会 役員一覽表 (平成28年度改選)

(敬称略)

顧問	湯原 俊雄 (元校長 昭54.4~昭61.3) 23(S28)	上原 洋允 (元大阪弁護士会会長)
	柴田 巖 (元校長 昭61.4~平 4.3) 12(S17)	安田 敏雄 (元日本弁理士会副会長)
	久間田 博幸 (元校長 平 4.4~平 9.3)	大塚 信一 (元校長 平20.4~平25.3)
	厚母 眞一 (元校長 平12.4~平16.3)	堀井 純 (前校長 平25.4~平28.3)
	尼子 東吉 (元校長 平16.4~平20.3)	好永 保宣 (現校長 平28.4~)
相談役	20(S25) 大村 計治 21(S26) 青山 兼光 21(S26) 澤 邑 知明 22(S27) 沖田 義彦	
	23(S28) 玉置 修三 23(S28) 矢森 武昭	

役職	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名
(本部役員)								
会長	29(S34)	宮原 健						
副会長	26(S31)	藤川 良純	29(S34)	森田 賢二	38(S43)	藤原 昇	43(S48)	佐藤 敏明
	47(S52)	徳重 悟	48(S53)	五十川 精三	62(H 4)	松尾 成彦		
事務局長	38(S43)	田中 修						
書記	60(H 2)	坂口 洋平	74(H16)	松田 周				
会計	37(S42)	矢津 武志	63(H 5)	田坂 隆司				
監査	28(S33)	赤部 功修	32(S37)	井野 早雄	28(S33)	宮田 悠紀雄	29(S34)	湯谷 宋吾
常任幹事	24(S29)	安藤 修也	28(S33)	澤井 駒一	31(S36)	石河 鴻一	33(S38)	岡本 勝彦
	29(S34)	須藤 哲士	31(S36)	大橋 貞弘	36(S41)	森悦 次郎	38(S43)	大岡 清司
	33(S38)	鈴木 光男	34(S39)	仲野 明夫	39(S44)	東内 秀多	42(S47)	大吉 田宗弘
	38(S43)	中崎 富雄	39(S44)	砂金 光夫	51(S56)	入口 智	53(S58)	東野 義晃
	47(S52)	田口 淳	49(S54)	中井 公男	75(H17)	森安 義次	75(H17)	中村 隆
	56(S61)	酒井 大樹	58(S63)	熊谷 優	82(H24)	柴田 英希		
	77(H19)	山岡 大	78(H20)	渡部 優	53(S58)	清水 尚義	61(H 3)	植田 恭啓
幹事	27(S32)	清水 英五郎	49(S54)	山本 眞大	66(H 8)	大橋 健弘	71(H13)	崎谷 裕史
	64(H 6)	井上 力哉	65(H 7)	井野 雄一	80(H22)	大井 孟之	80(H22)	中河 真菜
	76(H18)	大西 潤哉	79(H21)	高橋 尚起	81(H23)	大松 尾雅	82(H24)	植木 彩香
	80(H22)	後藤 彰久	81(H23)	藤崎 鈴香	84(H26)	岩間 梨那	85(H27)	紙田 あけみ
	83(H25)	北田 章悟	83(H25)	前田 正太郎	86(H28)	中尾 美咲	86(H28)	田中 大貴
	85(H27)	河野 貴一	85(H27)	山本 美雪				

平成28年度

(敬称略)

賛助金・賛助広告協力者芳名

皆様のご厚意による浄財を「校友会活動賛助金」および「賛助広告」としてお願いいたしましたところ、多数の皆様からご協力を賜り、ありがとうございました。

お陰様で、賛助金・賛助広告を合わせまして67万円余りの浄財を拠出して頂きました。深く感謝申し上げます。

芳名記載には万全を期しましたが、記載漏れ等がありましたらご容赦を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金

賛助金

29(S34)	亀村 台三	42(S47)	大森 輝義
	雁金 祥泰	45(S50)	田上 恵治
	中井 昭夫		谷垣 和夫
	堅川 健	46(S51)	中谷 昌一
	西郷 尚弘	48(S53)	牧山 孝司
	清水鉄次郎	49(S54)	梶田 昇
	栗山 亨奉		坂本 朗
	小廣 正	51(S56)	入口 智
	森岡 賢司		斧田 政文
30(S35)	喜多 忠博	52(S57)	茶尻 貢
	北浦 明雄		酒井 和隆
	竹内 昭	53(S58)	清水 尚義
	吹田 進	54(S59)	窪田 敏幸
	後藤 正義		植田 洋
31(S36)	東條 勝	57(S62)	西岡 利昭
	木戸 守正		辻本 順一
	平石 昭男	67(H 9)	近石 大器
	吉田 史朗	80(H22)	中谷 英之
32(S37)	川口 誠次	81(H23)	徳山 雄大
	上原 秀憲	85(H27)	中西 竜一
	井野 早雄	86(H28)	朝重 宏紀
33(S38)	戎 国和		向 亮二
35(S40)	布川 清澄		
	南宅 英治		
	上門 俊男		
36(S41)	森悦 次郎	29(S34)	西川 恒廣
	松本 宏		
	牧内 勝巳		
37(S42)	志村 傳造		
	荻野 秀雄		
39(S44)	横山 一夫		

次号賛助広告予約

数字=期(卒業年)

S=昭和、H=平成

太字=16号賛助広告予約

協賛金+賛助広告

賛助広告

賛助金

26(S31)	藤川 良純	37(S42)	矢津 武志	17(S22)	北村 寛
28(S33)	赤部 功	38(S43)	藤原 昇		横井 辰夫
29(S34)	森田 賢二	39(S44)	砂金 光夫	19(S24)	次田 幸雄
	宮原 健	43(S48)	稲葉 照夫	20(S25)	篠浦 一朗
31(S36)	大橋 貞弘	48(S53)	五十川精三	21(S26)	青山 兼光
	石河 鴻一	54(S59)	愛知 浩		植田 正夫
38(S43)	田中 修	60(H 2)	劔持 宣博		大藪 稔
47(S52)	徳重 悟	61(H 3)	植田 恭啓		澤邑 知明
49(S54)	中井 司	63(H 5)	田坂 隆司		橋本 修
		64(H 6)	井上 力哉	22(S27)	沖田 義彦
				23(S28)	玉置 修三
					西野 泰司
					宮野 友義
					安藤 修
					坂口 松男
				26(S31)	真鍋 安男
					木下 正幸
				27(S32)	清水英五郎
				28(S33)	宮田悠紀雄
				29(S34)	湯谷 宋吾
12(S17)	安田 敏雄	8(S14)	岡田 卓造	24(S29)	安藤 修
23(S28)	池本 繁喜	9(S15)	梅野 迪		坂口 松男
24(S29)	高橋 利夫	11(S16)	田中喜久雄	26(S31)	真鍋 安男
25(S30)	谷岡 剛	14(S20)	石橋 進		木下 正幸
28(S33)	澤井 駒一		高鶴 邦彦	27(S32)	清水英五郎
29(S34)	伊藤 榮信	15(S20)	山口 啓一	28(S33)	宮田悠紀雄
30(S35)	宮田 宏		八島喜久榮	29(S34)	湯谷 宋吾
33(S38)	岡本 勝彦				

■ 『 校友会活動賛助金 』 のお願い

本会の目的(会則第3条)を達成するためには、各種事業を計画・立案をする必要があります。そのためには、かなりの資金を必要とします。

毎年、総会開催に伴う諸経費、校友会誌発刊に伴う費用母校の周年事業の協賛や校友会の今後の活動のための資金として、皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」としてお願いしております。

今年も 一口¥1,000.(何口でも可)の温かいお志をお願いいたします。

送金方法：郵便振替 (別紙「払込取扱票」を利用)

口座番号：大阪0960-5-67967

加入者名：大阪商業大学高等学校 校友会

■ 『 新 役 員 』 の要請

平成28年度改選の役員は、本誌p.19掲載のとおりです。平成31年度の総会で、次期の役員を改選する予定です。積極的に役員として活動していただける方は、自薦・他薦を問わず、校友会事務局までお申し出下さい。

特に、幹事は各期に最低一名はお願いしたいのですが、充分ではありません。ぜひ、積極的にお申し出をお願いします。

※ 役員 の 活 動 内 容

本部役員：年間3回の本部役員会に出席して諸審議に参加して頂き、総会開催にご協力をお願いします。

幹 事：年間2回の幹事会の諸審議に参加して頂き、総会に向けて準備と当日の役割をお願いします。

■ 『 賛助広告掲載 』 のお願い(要予約)

次号(第17号)に賛助広告掲載のご協力を!

皆様よりのご協力をお願いします。

広告サイズ	A. 高さ	2.3cm	× 幅	4.7cm	¥3,000
	B.	4.6cm	×	4.7cm	¥5,000
	C.	6.9cm	×	4.7cm	¥8,000
	D.	4.6cm	×	9.5cm	¥10,000
	E.	9.2cm	×	9.5cm	¥15,000
	F.	13.8cm	×	9.5cm	¥20,000
	G.	9.2cm	×	19.0cm	¥25,000
	H.	13.8cm	×	19.0cm	¥30,000
	I.	27.6cm	×	19.0cm	¥50,000

申込み締切：平成30年2月28日(水)

広 告 料：次年度配布の「払込取扱票」にてお振込みの上、広告原稿をお送りください。

■ 『 校友会だより「校友会誌」』 の原稿募集

次号(第17号)に原稿投稿のご協力を!

校友会活動を充実させるため、校友会だより「校友会誌」を発刊しています。より充実した内容にするためには、皆様よりの投稿が不可欠です。

下記により原稿を募集していますので、ぜひ、投稿していただきますようお願いいたします。

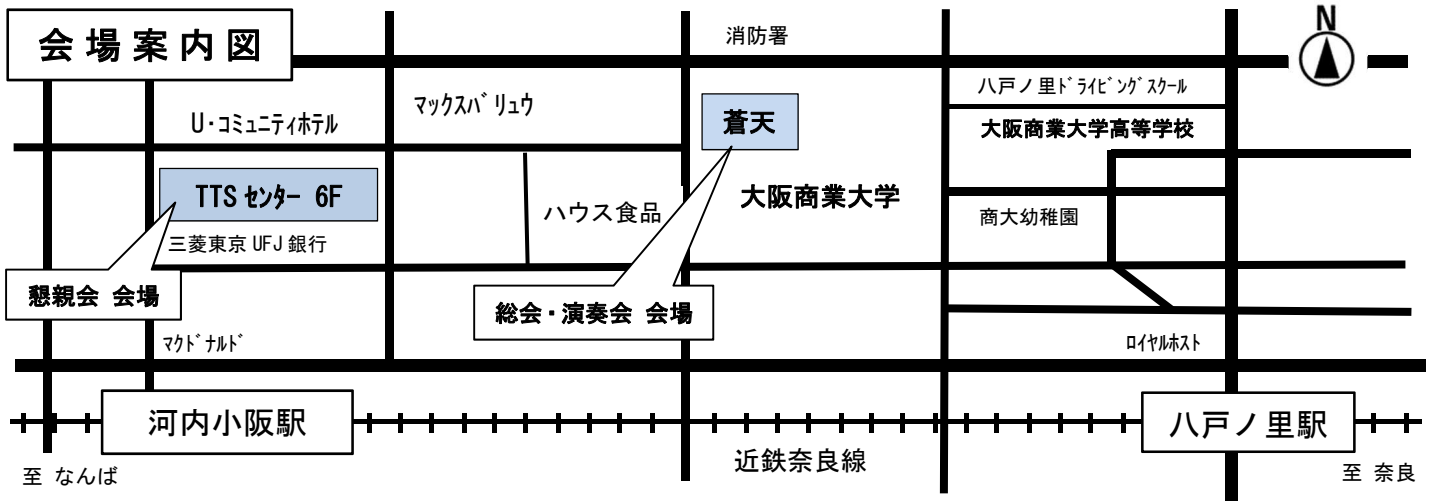
なお、同期会・クラブOB会など開催の情報を事務局までお寄せください。校友会から些少ですが補助金を支給させていただきます。

原稿の内容：同期会・クラス会・クラブOB会などの状況・生徒時代の思い出・短歌俳句など。

※ 写真や資料の提供も歓迎します。

原稿提出期限：平成30年2月28日(水)

原稿送付先：大阪商業大学高等学校 校友会 事務局 〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商大高校内
 TEL：06-6781-3050 FAX：06-6781-8972 **Eメール**：info@kouyuukai.org
会誌発行日：平成30年4月16日(月)の予定 **発行部数**：約12,000冊



編集後記

校友会だより「校友会誌」第16号をお届けいたします。

さて、本会は昨年で15周年を迎えました。まことに喜ばしい限りでございます。この校友会誌が会員の皆様と母校を繋ぐ一助になればと願って編集しております。なお一層、充実した会誌にするために、返信用はがきに近況などを記していただき、次号から校友会誌に集録することによって疎遠になっている旧友や先輩・後輩の動向などを知っていただきたいと思っています。

今後も更なる飛躍を目指して会誌の編纂を心がけますので、よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。